



第68期 中間 株主通信

2024年4月1日▶2024年9月30日

NICE! RICE!

みんなの願いを叶らせる。

亀田製菓株式会社

証券コード 2220

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当グループは、お米の恵みを美味しさ・健康・感動という価値に磨き上げ、お客様の健やかなライフスタイルに貢献する、“Better For You”をパーパス(存在意義)として位置づけ、お米の可能性を最大限に引き出し、世界で新価値・新市場を創造する姿、ビジョン(目指す姿)“ライスイノベーションカンパニー”の実現を通じて持続的な成長と企業価値向上を目指しています。

2024年度は、“ライスイノベーションカンパニー”の実現を目指して、独自価値創造型企業への基盤を固めるため、国内米菓事業の独自価値訴求によりキャッシュ創出力を高めるとともに、成長エンジンとなる海外事業と食品事業の拡大を図るための事業ポートフォリオ再構築に向けた様々な施策に取り組んでいます。

当中間連結会計期間の売上高は48,560百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は1,768百万円(前年同期比106.9%増)、経常利益は1,837百万円(前年同期比14.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は794百万円(前年同期比19.0%減)となりました。また2024年度の年間配当金は、1株当たり57円(前期比1.0円増配)を予定しております。

今後も当グループを取り巻く事業環境は不透明な状況が続くと想定されますが、引き続きグループの力を結集・統合し、持続的な成長と企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 CEO

代表取締役社長 COO

ジュネジャレカラジュ

高木政紀

連結業績ハイライト

	前中間期	当中間期	通期(予想)
売上高	44,067百万円	48,560百万円	102,000百万円
営業利益	854百万円	1,768百万円	5,500百万円
経常利益	2,144百万円	1,837百万円	7,000百万円
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	980百万円	794百万円	4,000百万円
1株当たり中間(当期)純利益	46.48円	37.67円	189.72円
配当金	15円	15円	57円

事業別業績

国内米菓事業

売上高 **33,329** 百万円 (前年同期比7.0%増)

営業利益 **1,647** 百万円 (前年同期比26.4%増)



国内米菓事業については、商品性にこだわり、独自価値訴求型の競争戦略への転換を図ることで収益基盤の強化に取り組んでいます。重点ブランドは従来の「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「亀田のつまみ種」「無限」シリーズの4ブランドに「技のこだ割り」「こつぶっこ」を加えた6ブランドとし、消費者コミュニケーション強化、ブランド価値強化に努めています。加えて、商品戦略に連動する形で生産能力増強や適正価格販売、販売促進費用の効率的な執行等、価値訴求に軸足を置いた活動を展開しました。また、百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社は、コロナ禍後の需要回復は一巡したものの新規店舗の出店効果もあり堅調に推移し

ました。これらの結果、国内米菓事業全体の売上高は前年同期を上回りました。

営業利益の改善に向けては、単体米菓において前期に実施した商品の価格改定・規格変更の効果に加え、重点6ブランドへの集中化による筋肉質なポートフォリオへの転換、販売促進費用の効率的な執行、商品の絞り込みや外部生産委託の活用による生産効率の向上など各種施策を継続的に取り組んでいます。また、百貨店向け商品や土産物用商品を製造販売するグループ会社の好調な業績が加わり、国内米菓事業全体の営業利益は前年同期を上回りました。

海外事業

売上高 **8,011** 百万円 (前年同期比14.1%増)

営業利益 **△124** 百万円 (-)



海外事業については、北米のMary's Gone Crackers, Inc.は売上拡大に向けて販路開拓に取り組んでおり、それに即した商品開発を行っています。業績回復の途上にあります。一方アジア地域はタイのSingha Kameda (Thailand) Co., Ltd.が輸出の拡大により好調を維持し全体業績を牽引したことで、海外事業全体の売上高は前年同期を上回りました。

営業利益については、北米のMary's Gone Crackers, Inc.が生産効率改善に取り組んでいる一方で、タイのSingha Kameda (Thailand) Co., Ltd.における輸出の拡大や中国の青島亀田食品有限公司の業績改善効果など、アジア地域が総じて好調に推移し、同地域では着実な利益成長を果たした結果、海外事業全体では前年同期から営業損失は縮小しました。

食品事業

売上高 **3,773** 百万円
(前年同期比41.6%増)

営業利益 **127** 百万円
(-)



植物性乳酸菌「K-1」

食品事業については、長期保存食が南海トラフ地震臨時情報の発表による防災意識の高まりを受けて個人および法人需要を中心に前年同期を上回り、米粉パンもアレルギー28品目不使用の米粉パンなどの取り扱い拡大により好調に推移しました。さらに、植物性乳酸菌についても、機能性を訴求し差別化を図ることで販路拡大に取り組み、プラントベースフードは植物性原料100%の「グリーンチキン」のラインアップ拡充、販路拡大およびBtoB市場開拓に継続して取り組みました。これらの結果、食品事業全体の売上高は前年同期を上回りました。

営業利益については、プラントベースフードや米粉パンの規模拡大に向けた先行投資負担の増加を長期保存食の増収影響が上回り、食品事業全体では前年同期の営業損失から改善しました。

その他 (貨物輸送等)

売上高 **3,445** 百万円
(前年同期比6.6%増)

営業利益 **118** 百万円
(前年同期比9.6%増)

新規荷主の獲得および適正料金の収受に向けた継続的な取り組みが寄与した結果、売上高・営業利益ともに前年同期を上回りました。



国内米菓事業

米菓・スナックで日本初※「おなかの調子を整える」
「お肌の潤いを維持する」機能性表示食品
『熱風焙煎 黒ごまチップス』新発売 <2024年9月>

亀田製菓が長年研究開発をしているお米由来の乳酸菌K-1を添加し、従来の米菓に健康価値を加えた機能性表示食品『熱風焙煎 黒ごまチップス』を発売しました。亀田製菓は1990年から30年以上、お米由来の乳酸菌の研究を続けています。長年の研究の末に見出したお米由来の乳酸菌K-1、K-2はいずれも機能性表示食品に対応した健康効果が認められた菌です。商品パッケージは、お米由来の乳酸菌の機能性をしっかりと伝えると同時に、煎りたてのごまの香ばしさが感じられるようなデザインに仕上げています。



※「おなかの調子を整える」「お肌の潤いを維持する」機能がある成分を含む機能性表示食品の届出として、米菓・スナック菓子形態としては日本で最初の商品です。

●スペシャルサイト
www.kamedaseika.co.jp/special/neppubaisen/

食品事業 | 株式会社マイセンファインフード |

植物性100%※¹のサラダチキン
「植物生まれのグリーンチキン 柚子こしょう」
新発売 <2024年9月>

「植物生まれのグリーンチキン 柚子こしょう」は調理不要でそのまま食べられるため、身体に嬉しい栄養素を手軽に摂ることができます。ブロックタイプでは、1個でレタス約2個分※²の食物繊維、たんぱく質19g、イソフラボン35mgを摂取できます。研究を重ねた独自の製法で、植物性原料からお肉のような繊維感と旨みを実現しており、まるでチキンのような食感・美味しさでしっかりとした食べ応えがあります。



味付けには九州産の柚子こしょうを使用し、豊かな柚子の香りと爽やかな青唐辛子の辛みが感じられる味わいに仕上げました。そのままはもちろん、サラダのトッピングや和風のレシピへのアレンジもおすすめです。

※¹ 食塩、添加物を除く。 ※² レタス可食部200gを約1個として計算。

●商品情報 www.joygreen.jp

食品事業 | 尾西食品株式会社 |

災害時の介護食提供に安心を備える <2024年6月>

尾西食品株式会社は、介護を必要とする方々が災害時に安心して食事を摂るよう、水だけで作れる新たな長期保存食「尾西の振って作るムース」を発売しました。この商品は、日頃ミキサー食やムース食を召し上がっている方が、災害時に必要なエネルギーを摂取できるよう、美味しさだけでなく、保存性と高カロリー・高たんぱくを兼ね備えています。停電などにより調理器具が使用できない状況下においてもミキサー食やムース食が提供でき、また日常の献立の中でも利用が可能な商品です。



●商品情報 www.onisifoods.co.jp/products/mousse.html

食品事業 | 株式会社タイナイ |

米粉パン新工場が竣工 <2024年4月>

米粉パン等の製造販売を行う株式会社タイナイの新工場が完成し、2024年4月23日に竣工式を執り行いました。新工場では、主力商品の「おこめ食パン」を生産します。仕込みから仕上げまでの行程を半自動化し、生産効率を向上させたほか、冷凍倉庫を新設し、業務用の販路拡大にチャレンジしていきます。



●株式会社タイナイウェブサイト www.tainai.co.jp

ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、ニュースリリースによる最新情報のほか、投資家情報やサステナビリティ情報をご覧ください。

ニュース・キャンペーン



www.kamedaseika.co.jp/news/

IR情報



www.kamedaseika.co.jp/ir/

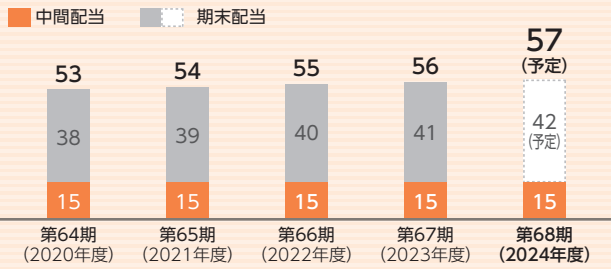
サステナビリティ情報



www.kamedaseika.co.jp/sustainability/

配当金のご案内

1株当たりの配当金 (単位:円)



当社は、「ライスイノベーションカンパニー」の実現に向けた国内外での投資と株主の皆様に対する利益還元へのバランスを考慮しながら、中期経営計画を実行し収益の拡大を図り、利益配分を安定的に拡大することを目指すことにより、株主の皆様のご期待に応じてまいりたいと考えております。

また、当社は中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

株主様へのご優待

■ 贈呈対象 毎年9月30日現在の100株以上ご所有の株主様に、当グループ製品の詰め合わせを贈呈させていただきます。

■ 贈呈時期 12月中旬頃

100~999株をご所有の株主様

1,000株以上をご所有の株主様



1,000円相当の詰め合わせ



3,000円相当の詰め合わせ

※画像は詰め合わせ製品例です。

(注)住所不明および長期不在等により当社に返送されました優待品については、2025年1月31日まで保管しております。万一、株主様のお手元に届かない場合は、お申し出がありましたら再送させていただきます。保管期限経過後については再送に応じかねますのでご了承ください。

● 会社概要 (2024年9月30日現在)

商号 亀田製菓株式会社
設立 1957年8月26日
資本金 19億4,613万円
従業員数 1,468名(連結4,161名)

● 株式情報 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数 59,251,000株
発行済株式の総数 22,318,650株
株主数 18,494名

所有者別株主分布状況



● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
株主確定基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	株主優待品	毎年9月30日
※中間配当を行う場合は		毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月開催	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社	
公告の方法	電子公告 (公告アドレス: https://www.kamedaseika.co.jp/ir/public/)	
証券コード	2220(東証プライム)	

● 株式に関する手続き

手続き	問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
・株主名簿に記載の住所・氏名などの変更 ・単元未満株式の買取請求 ・配当金振込指定 ・マイナンバーに関する問い合わせ ・その他手続きに関する事項	株式をお預けの証券会社にお問い合わせください	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)
・特別口座から証券会社の口座への振替申請 ・特別口座の残高照会		
・支払期間経過後の配当金の支払請求	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)	

※特別口座について 株券電子化前に証券保管振替制度を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社に特別口座を開設します。特別口座についてのご照会は、みずほ信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

2022年9月1日に施行された改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度(ウェブサイトから閲覧する方法により総会資料を提供する制度)が始まりました。当社においても、来年からは当該制度に即した方法でご提供する予定です。

来年以降も引き続き、株主総会資料の書面でのお受け取りを希望される株主様は、お取引の証券会社または下記お問い合わせ先までお申し出ください。

お問い合わせ先 | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
株主総会資料ウェブ化に関するお問い合わせ窓口
☎ 0120-524-324 (フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。

亀田製菓株式会社

〒950-0198 新潟県新潟市江南区亀田工業団地3丁目1番1号